

令和5年度第3回千葉県地域リハビリテーション協議会開催結果概要

- 1 日時 令和6年3月21日(木) 18時00分～19時45分
- 2 会場 オンライン開催
- 3 出席者 協議会員総数16名中14名出席
荒井泰助協議会員、飯田政則協議会員、井上創協議会員、岩本明子協議会員、薄直宏協議会員、金井要協議会員、亀山美紀協議会員、菊地尚久協議会員、坂田祥子協議会員、長谷川美穂協議会員、松本友寿協議会員、村田淳協議会員、山藤響子協議会員、和田浩明協議会員(50音順)
オブザーバー1名出席(田中康之氏:県リハビリテーション支援センター)
各広域支援センター担当者9名

4 会議次第

- 1) 開会
- 2) 議事

(1) 報告事項

- ① 次期「千葉県保健医療計画」について
- ② 各支援センターの令和5年度活動結果について
- ③ ちば地域リハ・パートナーの指定状況等について
- ④ 地域リハビリテーション出前講座の実施と来年度の取組について

(2) その他

- ① 千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱の改正について
- ② 情報交換

3) 閉会

5 会議結果概要

- 1) 開会
- 2) 議事

(1) 報告事項

- ① 次期「千葉県保健医療計画」について
事務局より資料1-1について説明し、以下のとおり質疑がありました。

(荒井協議会員)

災害リハの取組は非常に良い試みだと思うが、限られた予算でどのようにやっていくのが大事なところである。3年間とはいえ、膨大なものを広域支援センターに渡されてもフリーズしてしまう。県リハに委託とのことであるが、県リハのサポートとしてやるのであれば、機能するのではないかと思うが、どのような役割分担でいくのかお聞かせいただきたい。

(県)

令和6年度は、意見交換会の中で会議に参加してもらって意見をもらうような形で考えており、今のところ広域支援センターに一から行動指針を作成してもらうということは考えていない。なるべく大きな負担がかからないよう形で考えていきたい。

(井上協議会員)

介護関係者の BCP 策定の中では、まず初めにそれぞれの基本方針があり、基本方針に基づく行動指針につながる流れになっている。これを参考にすると、今回の行動指針は、圏域ごとに広域支援センターが行動指針を作るとした場合、その前に、まずは千葉県全体としての基本方針、あるいはビジョンといえるものを明確にさせていただくと各圏域で行動指針を作りやすくなるのではないかと。資料にある行動イメージの図がこれを示すものに近いと考えられ、県のビジョンとして明確に示していただくと、全体としてはまとまりが出てくるのではないと思う。

(県)

イメージ図に近づけるように良い指針にしていきたいと思う。

- ② 各支援センターの令和5年度活動結果について
資料2について各支援センターより説明し、以下のとおり質疑等がありました。

(荒井協議会員)

地域リハの研修事業について参加者の内訳を教えてください。

(県支援センター)

研修の内容によって、広域支援センターを対象にしたり、リハ・パートナーを対象にしたりすることになっているが、先日実施した地域リハビリテーション調整者養成研修では、高次脳機能障害に関係した内容を実施し、250人程度の参加があったが、参加者は幅広く、就労支援関係者、広域支援センター、リハ・パートナー、地域包括支援センター、回復期病院の関係者が参加した。

来年度以降は、研修を受講した人が、リハ・パートナーになってもらうとか、リハ・パートナーの方が、研修を受けて一定レベルのレベルに持っていくことにして、さらにターゲットを絞った研修を行うことができればと考えている。

(荒井協議会員)

圏域の連絡協議会を開催したときに、ネットワーク事業を充実すること、リハ専門研修を充実すること、リハ・パートナー事業等を含めた個別の事業を充実させることなどが、参加者からの意見が多かったので、研修事業をより充実させることにより、個別の事業を充実していくことが、地道ではあるが一番大事なことだと思うので重点的に行っていただきたい。

(県支援センター)

研修を単に行っただけで終わることなく、ネットワーク化に繋げるようにしていきたいと思う。

(金井協議会員)

コメントが2つある。1点目は、広域支援センターは1市から複数の市町村の担当まであるが事業報告の話では、顔の見える距離感がずいぶん近くなってきたなど感じている。

また、行政との距離が近くなったおかげで、地域リハのケアに参加しているとか、事例検討会が行われているところもあると聞いて大変感謝している。

2点目は、スポーツへの取組について、海に入るような取組やボッチャといった障害者スポーツを紹介する取組があった。今年はパリオリンピックの年なので、パリのパラリンピックでどのような取組が行われるのか、非常に興味がある。

- ③ ちば地域リハ・パートナーの指定状況等について
事務局より資料3について説明し、質疑等はありませんでした。
- ④ 地域リハビリテーション出前講座の実施状況について
事務局より資料4について説明し、以下のとおり意見がありました。

(菊地協議会員)

本来の目的は、地域リハビリテーションを地域の方々に理解してもらうことにあるので、職業選択にあまり重きをおかないよう、留意していただきたい。

(県)

本来の実施の目的から外れないように進めていきたい。

(2) その他

- ① 千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業実施要綱の改正について
事務局より資料 5-1 について説明し、質疑等はなく、了承されました。
- ② 情報交換
県支援センター田中オブザーバーより、①令和6年能登半島地震の千葉 JRAT の関わりについて、②厚生労働科学研究費(長寿科学政策研究事業)における「地域リハビリテーションの効果的な提供に関する指標開発のための研究」についての報告があり、質疑等はありませんでした。